

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
氷見地区

平成23年2月

富山県氷見市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地区内人口の減少削減	人/年	-265	-240	-164	確定 見込み	○	あり なし	-170	H22年2月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歩行空間の確保やバリアフリー化による歩行環境整備により、歩行者の快適性が向上し、歩行機会の増大につながった。その結果、地域コミュニティが活発になった。また、地域住民の交流の場の整備により、世代を超えた交流が図られ、地域の魅力値がアップした。
指標2	来街観光客数の増加	人/日	1,712	2,500	2,075	確定 見込み	△	あり なし	2,049	H22年4月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歩行環境の向上、休憩施設や交流の場の整備、様々なイベントの開催など、観光客数の増大に向けた施策を実施したが、天災(能登半島沖地震)や予定していた集客施設の整備の遅延により、目標値の達成に至らなかった。
指標3	中心商店街の歩行者数の増加	人/時	112	140	78	確定 見込み	×	あり なし	-	-	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	様々なイベント開催などによる観光客数増大に向けた施策、住民にとっての歩行環境の向上、休憩施設や交流の場の整備により、観光客を含めた休日の歩行者数は増加したが、空き店舗が多くなったこと、郊外大規模小売り店舗の進出など、中心商店街の魅力度が不足していた。
指標4	地区内イベント参加者数の増加	人/年	142,500	170,000	188,691	確定 見込み	○	あり なし	178,016	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	古くから開催されてきたイベントに加え、全国的に著名な地元出身者・藤子不二雄(A)氏関連のイベントを開催するなど、新旧取り混ぜた様々なイベントにより、イベント参加者数が確保された。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	中心商店街の歩行者数の増加(休日)	人/日	665	710	確定 見込み	/	/	/	-	-	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	観光客数増大に向けた施策、休憩施設や交流の場の整備により、観光客を含めた休日の歩行者数は増加した。
その他の数値指標2	湊川リバーウォーク(カラクリ時計)周辺の観光客数	人/年	46,120	48,500	確定 見込み	/	/	/	-	-	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	湊川周辺の歩行空間の確保やバリアフリー化による歩行環境や休憩施設の整備により、観光客が増加した。
その他の数値指標3	市民会館大ホールの利用件数	件/年	43	57	確定 見込み	/	/	/	-	-	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民会館大ホールの改修により、イベントなどの催し物が以前よりも多く開催されるようになった。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	快適な生活環境の維持・向上	地元自治会による歩道の植栽、ポケットパークの維持管理	適切に清掃が行われている	地元自治会の高齢化に伴い、ボランティアの確保が困難である
	商店街の賑わいの持続・回遊性の向上	空店舗再生にかかる補助制度の策定 観光ポータルサイト「きときとひみどつとこむ」を開設	1件の申請があり、新たな店舗として再生された	23年度までの補助制度であり、新たな空店舗再生への施策が必要である 道標の1つとして、路面標示サインの設置を検討している
	住環境の向上	居住者の隣接地購入に対する補助制度の策定	間口の広い敷地となることで、2世帯住宅の建築が可能となった	27年度までの補助制度であり、新たな施策で2世帯住宅を増加させることが必要である
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	海鮮館及び健康増進施設・物販施設を核とする周辺施設の整備	海鮮館に情報パネルを設置（宿泊施設の空き室状況や観光ポータルサイト） シンボルロード最終区間の電線類地中化工事の開始	海鮮館を訪れた方々に情報パネルが利用されている	シンボルロードは23年度末に全線完了を予定している 次期都市再生整備計画にて健康増進施設・物販施設を核とする周辺施設を整備する
	中心商店街の魅力度アップ	夜のまちなか巡りの実施(6回/年)	県内外から550人が参加した	夜のまちなか巡りは、24年度から観光協会に移管される 商店街の気運を高めるための対策が必要である
	観光ホスピタリティ(もてなしの心)の向上	観光協会にて観光コンシェルジェを3名配置、見どころやイベントを紹介する情報誌を発刊、「着地型旅行」商品の売り出し	旅行業に参入した観光協会の「着地型旅行」商品が好評である	外国人観光客への対応や、JRを利用した観光客の利便性向上が必要となる

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
-	-	-	-